

# 平成30年度 常置委員会だより NO.2

## 母親・広報委員会編

北海道PTA連合会

平成31年1月21日（月）

平成30年12月8日（土）に第2回母親・広報委員会が開催され、地区母親研修会の実施状況の交流やグループに分かれての研究内容の交流、平成30年度のまとめ等についての研究協議そして道P連ホームページ内「母親のつぶやき」の投稿研修などを行いました。

### 平成30年度 母親・広報委員会 研究のまとめと（次年度の方向性）

#### I. 今年度の研究テーマ

- ◎ 全道統一スローガン 『今 ころろ輝いて 親として 人として』
- ◎ 今年度の研究テーマ 『豊かな心をもった子どもを育てる母親のあり方』

#### II. 成果と課題等

##### 1 母親委員会の活性化と組織の充実のあり方

###### 《成 果》

- ア 各地区における母親委員会の組織状況は様々であるが、地区事務局と連携のもと地区母親研修会を開催し、研修の充実等成果を上げている。
- イ 母親委員会が組織化されている地区では、事前に母親委員会運営委員会を行うなど「母親自らが企画・運営する」研修活動を推進している。
- ウ 地区母親研修会のほかにも、年間活動計画を立てていろいろな研修活動を実施し、資質向上を図っている地区もある。

###### 《課 題》

- ア 母親委員会が組織されていなかったり、組織されていても認知度が低かったり、また、企画・運営を先生が中心になってしまっている地区もある。
- イ 引継ぎについては、任期が1年ごとの輪番が多いようである。引継ぎ会を行っている地区もあるが、顔を合わせての引継ぎができていない地区もある。



## 2 「生きる力」を育てる家庭教育のあり方

### 《成 果》

- ア 各地区母親研修会における講演会及び分科会においては、「学習習慣・生活習慣の定着に向けて」「電子メディアが子どもに与える影響」「食育とPTA」「思春期の子どもを取り巻く現状と親の対応」等、家庭での子育ての悩み等に関するタイムリーなテーマが取り上げられ、好評であった。
- イ 参加者の子育てに対する意識は高く、いろいろなアンテナを立てて情報を収集し、関心を持って参加している。
- ウ (Bグループ討議『ネット社会における大人の役割』についてのグループ討議より) ルール等を決めるときに親から押しつける形での決め方ではなく、なぜ時間に制限を設けるのか等、具体的な例を子ども自身に投げかけ、子どもが自分でルールを決めていくような話し方をしたらよいのでは。

### 《課 題》

- ア 情報化等による子どもを取り巻く環境の急速な変化に、保護者としても柔軟に対応していく必要がある。

## 3 母親・広報委員会発の話題提供源としての広報活動

### 《成 果》

- (1) 道P連のホームページを活用した継続的な情報発信の推進
  - ア ホームページの更新計画に基づき、見やすく会員が参加・運営するホームページになるよう、会員目線のタイムリーな更新に努めた。
  - イ 第1回・第2回の母親・広報委員会の中で、投稿の仕方の研修を行い、委員会の感想等を投稿した。
- (2) ブロック・各地区・単位PTAの活動状況内容の収集と話題提供・情報の共有化
  - ア 各地区において、道P連ホームページ（PTAT、母親のつぶやき、お知らせ等）の周知を図っている。
  - イ 各地区では、道P連や他ブロック・他地区の活動のようすを閲覧し、取組の参考にするなど活用している。
  - ウ 研修の成果を生かし、母親委員による「母親のつぶやき」への積極的な投稿がなされていた。

### 《課 題》

- ア まだまだ、周知の必要性を感じる。今後も投稿・閲覧の呼びかけを行っていく。
- イ 広報委員として、HPに何度か投稿できたことはよかったが、自分の周りの保護者道P連のHPがあること自体知らないのもう少し周知してもらい閲覧してもらえたら各地域の取組もわかり、自分の地域で活かしたり、研修会に興味をもってもらえて参加率も上がるのではないかな。

### Ⅲ 次年度の方向性

#### (1) 母親委員会の活性化と組織の充実のあり方

- 地区母親研修会における母親委員の活動を積極的に進めるために、今後も実態を把握し、情報交流を行っていくとともに、活動の目的・趣旨等の共通理解に努める。
- 全道各25地区の母親委員に北海道全体にPTA活動が浸透していくよう、道P連の会議への積極的な参加を呼びかけるとともに、ホームページの充実を図り、閲覧・投稿等の呼びかけを行い、組織や活動の活性化を図る。
- 今後も母親研修会の目的や趣旨・位置づけを明確にし、体験参加型の内容の工夫や母親の視点から内容の工夫のほか、市P連との連携を図り、主体的に企画・推進・運営を行っていくことが大切である。

#### (2) 「生きる力」を育てる家庭教育のあり方

- 家庭環境も様々であり、子育てに悩む親は多い。悩みを母親あるいは父親一人で抱えるのではなく、多くの人と情報共有できる場を設定し、意見交流を図っていく。
- 各地区で、望ましい家庭教育の在り方を追求することができるよう、各地区の研修会等の取り組みを交流したり、参考資料として継続して整備していく。

#### (3) 母親委員会発の話題提供源としての広報活動

- 25地区の母親委員が中心となり、道P連のホームページを活用した継続的な情報発信を推進する。
- ホームページの周知、閲覧の積極的な呼びかけをし、活用促進を図る。
- 母親のつぶやきで身近な情報発信と情報共有を図る。



北海道PTA連合会事務局



〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目 共栄火災ビル7階

TEL (011) 251-6937 FAX (011) 210-0929

Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp